

2021年「岩手県消費者大会」アピール

消費者大会に参加のみなさん

新型コロナウイルスの新規感染者数は全国的に減少傾向にありますが、収束は見通せず、今も経済は停滞し、くらしは厳しい状況が続いています。新型コロナウイルス感染拡大に起因する解雇や雇止めにあった労働者は見込みも含め11万人を超え（7月13日厚生労働省公表）、非正規雇用や女性など特に立場の弱い人により大きな影響をもたらしています。雇用情勢の悪化は所得環境を悪化させ、格差と貧困の拡大を招き、生活保護を受給する人が増えました。2020年度の生活保護申請件数は前年度を5千件以上上回り、計約22万8千件となり11年ぶりに増加しました。

また、社会的に孤立しているとみられる人が18歳以上の12%に上っていると厚生労働省の調査から報告されています。コロナ禍の影響により人との接触の機会が減ったことで、社会的精神的に孤立する人や女性・若者の自殺も急増しており、孤独や孤立問題への対応が急がれます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は以前から日本社会が抱えてきた労働や貧困、差別などの問題を浮き彫りにしました。貧困は雇用状況や社会保障など社会構造の問題であり自助努力では解決しません。貧困と格差をなくすために、普通に働けば普通に暮らせる社会、誰もが将来に希望がもて人間らしい生活が送れる社会になるよう必要な政策を求めていきましょう。

今月末には衆議院議員選挙が行われます。未来をつくるのは私たちです。安心して暮らせる社会をめざし、みんなで行動しましょう。

2021年10月27日

岩手県消費者大会実行委員会